

謹賀新年



多古町長
菅澤 英毅

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様方には、輝かしい二〇一七年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、地方の自主的かつ主体的な取り組みを考えて、町の将来の方向性について示すべく策定した「多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、主な施策を町の発展につながるよう取り組み、空港シャトルバス増便など着実な実行に努めております。

成田国際空港の機能強化については、昨年9月に国・県・空港会社・関係9市町で構成する「成田空港に関する四者協議会」が開催され、年間発着容量50万回時に必要とされる滑走路の配置・空港敷

地範囲・夜間飛行制限の緩和・予測騒音コンターの案が提案され、昨年から地区説明会が開催されております。空港の敷地や騒音下の拡大に伴う地域の皆さんにあつては重要な問題である事柄と認識しており、騒音対策、地域振興策など地域の意向を十分に踏まえつつ対応することが第一と考えます。一方で、圏央道整備の早期完成を目指すとともに、周辺の土地利用や圏央道周辺の道路網整備などを促進し、雇用を生み出す企業立地等一体的に取り組んでいくことが、多古町と空港との共生・共栄を図る上で重要と考え、町の発展につなげたいと考えております。

新しいコミュニティ作りが進む多古台では、住宅開発の第3期分譲計画の具体化や、多古幹部交番の移転、バスターミナル内のトイレ設置、染井・多古台線の供用開始も目前であり、さらなる発展が期待される場所です。
教育面では、多古こども園が開園して3年を迎え、保護者の方々のご協力により順調に推移致しております。また、教育環境充実の面では、多古中学校の校舎空調設備の整備を推進し、教育環境の充実を図っております。

結びに、町民の皆様がますますのご多幸を心からご祈念申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、未来に羽ばたく希望に満ちた新春をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は、選挙権が18歳に引き下げられ、7月の参議院選挙で初めて投票が行われました。私たち地方議員も若い世代の政治への関心を高めるべく地域に根差した議員活動に邁進し、胸を張って次世代に引き継いでいけるようにしなければならぬと痛感しております。

さて、国内外に目を向けますと、アメリカでは民間出身の大統領が決まり今後の対日政策がどのように変わるのか、庶民生活への影響が気にかかる所があります。国内においては、依然として明確な成果の見えない経済状況、人口減

少社会にあつて地方の活性化は必須の課題であり、各自治体が創意工夫を凝らした独自のまちづくりが求められております。

多古町を取り巻く情勢は、成田空港の更なる機能強化に関する基本的な方向性が確認され、第3滑走路および空港敷地範囲、夜間飛行制限の緩和などの案が示されました。

一方、圏央道大栄JC〜横芝松尾IC間はいよいよ最後の未開通区間となり、空港機能強化と併せ早期着工に弾みをつけていかなければなりません。しかし、この2大プロジェクトの実現には、解決しなければならぬ多くの課題も山積しております。各関係機関は、町民の皆様に対し丁寧な説明はもとより要望を真摯に受け止め、ご理解をいただかなければなりません。一方では多古町が大きく飛躍する千載一遇のビッグチャンスでもあります。

町議会としてもこの機会を逸することなく、町民の幸せと安心安全な暮らしのため、議員一丸となって取り組んでまいります。

結びに、多古町と町民の皆様にとりまして、本年が実り多き良き年であり、また、ことをご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



多古町議会議員
菅澤 昌則

